教科	科目	単位数	学年	集団
探究	究タイム（総合的な探究の時間）	1 期間履修	2	ビジネス探究科

使用教科書	副教材等

科目の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、より良く課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（1）探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
（2）実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
（3）探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

評価の観点とその趣旨

①知識・技能	（1）富士市の魅力や課題について十分に理解する。 （2）課題解決に向けた提案作成の方法を理解し、提案をを作成できる。 （3）インターネットや書籍の利用、アンケートやインタビューの実施により必要な情報を収集し、整理・分析できる。
②思考・判断・表現	（1）提案を作成する際に、地区の課題を魅力とのつながりを考えることができる。 （2）いくつかの案からより良いものを選択する形で提案の作成ができる。 （3）調べたことや自ら考えたことを論理的にまとめ、スライド等を使用して効果的に伝えることができる。
③主体的に学習に取り組む態度	（1）提案の作成、発表に意欲的に取り組もうとしている。 （2）活動全般を通して班員と協力して活動している。 （3）地域の一員であることを理解し、地域のために何ができるかについて考え、活動できる。

評価方法

①知識・技能　提案発表（プレゼンテーション）の内容　ワークシート及び発言
②思考・判断・表現　提案発表（プレゼンテーション）の内容　ワークシート及び発言
③主体的に学習に取り組む態度　グループ活動への取り組み状況　授業への取り組み状況　振り返りシート

学習計画

月	項目	単元	単元や題材などの内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	オリエンテーション	ガイダンス・ワークショップ	活動の趣旨や方向性を理解することで、主体的に取り組む動機づけができ、活動に主体的に取り組むようになる。	○	○	○
	富士市について	富士市の社会課題を知る	富士市の課題や魅力を十分に理解する。	○	○	○
		プランの方向性の決定	富士市の課題からプロジェクトテーマを発見し、実現したい未来や解決したい課題が明確になる。	○	○	○
		アイデア発想	Will,Must,Canのクロス発想により、プロジェクトのアイデアを考え、今後取り組みたいことをまとめることができる。	○	○	○
5	メンタリング	メンタリングの準備	メンタリングに向け、自分たちのプロジェクトのアイデアをまとめることができる。	○	○	○
		メンタリング	自分たちのアイデアに対する大学の先生などのアドバイスをアイデアの改善に繋げることができる。	○	○	○
		調査・分析	現状や先行事例、類似事例についてに調査を行い、提案の具体化に向けて、調査、検証をすることができる。	○	○	○
6	企画書の作成	企画書の作成	課題、内容、結果、ビジョンが繋がる形でプランが可視化された企画書を作成することができる。	○	○	○
	スライドの作成	スライドの作成	課題、内容、結果、ビジョンが繋がる形でプランが可視化されたスライドを作成することができる。	○	○	○
	中間発表会	中間発表会	大学の先生などからのアドバイスや、他班のプランとの比較により、企画力を高めることができる。	○	○	○
7	企画の見直し	企画書・スライドの改善	中間発表会でのアドバイスや気づきを生かし、企画書やスライドを改善することができる。	○	○	○
		夏休みの活動の計画	夏休みの活動の計画を立て、実践に繋げることができる。			○
9	企画の見直し	企画書・スライドの改善	フィールドワークの結果を反映させて、プランを改善することができる。	○	○	○
	発表活動	クラス内発表	自分たちの提案を伝えるなかで、問題点に気がつくことができる。	○	○	○
		最終発表会	クラス内発表で気づいた問題点を改善して、自分たちの提案を効果的に伝えることができる。	○	○	○
	振り返り	活動の振り返り	主体性、協働力、思考力等の関する項目について自己評価をし、今後の活動に活かすことができる。	○	○	○